



学校だより

8.9月号

横浜市立六つ川台小学校

令和8年8月27日



URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail: ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

Daista☆

自然と共に生きていくこと

校長 宮崎 里子

巻頭にあたり、このたびの熊本地震、そして千葉県を中心とした豪雨災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、尊い命を失われた方々に哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様に深くお悔やみ申し上げます。

この災害によって日常の生活が大きく損なわれ、不安な日々を過ごしておられる方々のことを思うと、胸が痛みます。一日も早く安心して暮らせる日々が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。

私たちは自然災害の恐ろしさを改めて認識するとともに、人と人との支え合いの大切さについても学ばなければならないと感じ入っています。本校でも、子供たちが命の尊さをしっかりとみつめ、また、「自分の身は自分で守る」という防災への意識を高め、互いに思いやりをもち、助け合おうとする心を育むよう一層努めていきます。

このような昨今の地震、大雨、また、連日の猛暑を超えた「酷暑」の到来など、気象状況は従前とは違う猛威をふるう可能性があることに、学校運営に関わる者としては大変な脅威を感じています。

去る6月3日には大雨による登校困難な状況が発生し、保護者の皆様には多大なるご心配をおかけしました。これを受けこの度横浜市教育委員会は「新たな防災気象情報の運用開始」を反映した「横浜市学校防災計画」の修正を行いました。本日配付された「令和8年度 非常時の対応について」(4月8日付発出を改訂)をご覧の上、ご家庭でもご承知いただきますようお願い申し上げます。内容としては、各種災害警報レベル4以上の場合の対応についてや、気象状況により前日の段階で休校措置を決定すること等が新たに記載されています。子どもたちの安全を最優先に考え、学校も対応していきます。

未来を生きる子どもたちはこれらの「異常気象」と言われる自然の脅威に対して、備えをし、協働して知恵を働かせることが必要となります。地球の声に耳を傾け、今起こっている環境の変化に対応していくための「脱炭素化」などの取組は今後一層重要になるでしょう。予測不可能な未来を生きる子どもたちに私たちから贈り物ができるとしたら、つながりあって英知を集結し、生き抜くための力を身に付けさせることではないかと強く思っています。